

問1 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所や寺社の門前などで、月に3回などの特定の日に開かれた市場を何と呼びますか。貨幣経済の普及とともに各地で発達したこの市場の名称として正しいものを選択してください。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 三斎市 2. 楽市 3. 問丸 4. 座

問2 室町時代の第3代将軍である足利義満は、京都の北山に金閣を建てるなど、公家と武家の文化が融合した北山文化を築きました。この時代、足利義満の保護を受けて大成された、猿楽や田楽を源流とする日本の伝統芸能は何ですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 能 2. 歌舞伎 3. 人形浄瑠璃 4. 雅楽

問3 室町幕府の三代将軍である足利義満は、明（中国）との間で正式な国交を結び、貿易を開始しました。この貿易では、文字が記された札を二つに分けた「勘合（かんごう）」と呼ばれる道具が用いられましたが、このような仕組みが導入された背景として最も適切なものはどれですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 東アジアの沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため。 2. ポルトガルやスペインの商人が持ち込むキリスト教の布教を、厳しく制限する必要があったため。 3. 日本から輸出される銀や銅の総量を、幕府が正確に管理して独占する必要があったため。 4. 朱印状を持った日本船が東南アジアへ進出することを、明の皇帝が公式に認めたため

問4 足利義政が将軍を務めていた時期の政治・社会情勢について述べた文として、正しいものはどれですか。（2015年 山口公立入試 類似）

1. 幕府の権威が全盛期を迎え、明との勘合貿易によって経済が飛躍的に発展した。 2. 将軍の後継者問題をきっかけの一つとして応仁の乱が起こり、戦乱が11年も続いて京都が荒廃した。 3. 元（モンゴル帝国）による二度の襲来に対し、執権を中心に全国の御家人が一致団結して戦った。 4. 織田信長による天下統一が進み、室町幕府の最後の将軍が京都から追放された。

問5 14世紀から16世紀にかけて、琉球王国は地理的な利点を活かして東アジアの交易で重要な役割を果たしました。中国から生糸や薬、茶などを仕入れて日本へ送り、逆に日本からは銀や海産物を仕入れて中国へ送ることで大きな利益を得ていた、このような貿易の形態を何といいますか。（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 中継貿易 2. 朱印船貿易 3. 南蛮貿易 4. 勘合貿易

問6 室町時代に、商人や手工業者が結成した同業者団体を何というか答えなさい。この団体は、貴族や寺社などの権力者に税を納めることで、営業の独占権を認められていた。（2024年 愛媛公立入試 類似）

1. 座 2. 問丸 3. 土倉 4. 町衆

問7 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品々が納められている正倉院には、インドや西アジアを原産とする宝物が数多く見られます。これらの品々が当時の日本に伝わった歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. 内陸アジアを横断するシルクロードを経由して唐へもたらされた品々が、遣唐使などによって日本へ運ばれた。 2. 南蛮貿易を通じて、ヨーロッパの商人が銀と引き換えに西アジアの特産品を日本へ持ち込んだ。 3. アイヌの人々との交易が活発になり、北方ルートを通じて西アジアの工芸品が京都へ流入した。 4. 中国で発明された火薬や羅針盤がイスラム世界へ伝わる過程で、日本にもこれらの技術が直接伝来した。

問8 近畿地方の歴史的な変遷について述べた文として、各時代の制度や出来事の背景を正しく説明しているものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 承久の乱の後、鎌倉幕府は朝廷の動きを監視し西日本を統制するために、京都に六波羅探題を設置した。 2. 奈良時代、全国から租・庸・調などの税を集める拠点として、大坂に六波羅探題が造営された。 3. 室町時代の初期、幕府の権威が最も高まった時期に、平城京において応仁の乱が勃発した。 4. 平城京から勢力を拡大した朝廷が、九州の防衛を強化するために近畿地方へ応仁の乱の拠点を置いた。

問9 室町幕府の組織において、足利氏の一門である細川氏、斯波氏、畠山氏の三家から交代で選ばれ、将軍に次ぐ最高の役職として幕政を統括した役職の名称を選択してください。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 管領 2. 執権 3. 老中 4. 評定衆

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 三斎市	中世日本では、交通の利便性が高い場所や人が集まる寺社の前で、日にちを決めて市場が開かれるようになりました。当初は月に3回開かれる「三斎市」が一般的でしたが、経済がさらに活性化した室町時代後半には、月に6回開かれる「六斎市」へと発展しました。これにより、地方の特産物や手工業品が貨幣を通じて広く流通するようになりました。
問2	<b>答え 1</b> 能	室町時代の北山文化において、観阿弥・世阿弥の親子が、それまで民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、幕府の保護を受けながら芸術的に高め、現在の「能（能楽）」の形へと完成させました。
問3	<b>答え 1</b> 東アジアの沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため。	当時、東アジアの沿岸では「倭寇」と呼ばれる海賊による略奪行為が盛んでした。明は日本に対して倭寇の取り締まりを強く求め、足利義満はこれに応じる形で「日本国王」として明の皇帝に従う形式をとり、日明貿易（勘合貿易）を開始しました。勘合は、明から与えられた証明書を半分に割って双方が保管し、港で照合することで、倭寇などの密貿易船ではないことを証明するために使用されました。
問4	<b>答え 2</b> 将軍の後継者問題をきっかけの一つとして応仁の乱が起こり、戦乱が11年も続いて京都が荒廃した。	義政の跡継ぎを巡り、妻の日野富子や有力守護大名の細川氏・山名氏らに対立したことで、1467年に応仁の乱が勃発しました。この戦乱によって幕府の統制力は失われ、実力のある者が上の者を倒す「下克上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入することになりました。
問5	<b>答え 1</b> 中継貿易	琉球王国は、自国の産物だけでなく、他国から輸入した商品をさらに別の国へ輸出することで利益を上げました。当時の東アジアにおいて、中国（明）と日本などの国々の間に入り、物資の橋渡しをする役割を担っていたことがこの名称の由来です。
問6	<b>答え 1</b> 座	室町時代の商工業者は、権力者に金銭（税）を納めて「本所」と呼ばれる保護者になってもらうことで、特定の商品の製造や販売を独占する権利を得ていました。このような組織を「座」と呼びます。選択肢にある「問丸」は物資の輸送や保管、「土倉」は質屋のような金融業を指します。
問7	<b>答え 1</b> 内陸アジアを横断するシルクロードを経由して唐へもたらされた品々が、遣唐使などによって日本へ運ばれた。	奈良時代の正倉院には、国際色豊かな宝物が収められています。これらは、内陸アジアを横断するシルクロード（絹の道）を通して当時の唐（中国）に集まった文化や物品が、遣唐使などの往来によって日本へもたらされたものです。これにより、当時の日本は遠く西アジアやインドの文化の影響を受けることとなりました。
問8	<b>答え 1</b> 承久の乱の後、鎌倉幕府は朝廷の動きを監視し西日本を統制するために、京都に六波羅探題を設置した。	鎌倉時代、後鳥羽上皇が倒幕を掲げて兵を挙げた承久の乱において、幕府側が勝利したことで近畿以西の支配力が強まった。その結果、朝廷を監視し、西国の地頭を統制するための出先機関として六波羅探題が置かれた。平城京は奈良時代の都であり、応仁の乱は室町時代に京都を中心に起こった戦いであるため、時期や場所、目的が合致するのは六波羅探題の記述である。
問9	<b>答え 1</b> 管領	室町幕府では、将軍を補佐し政務を統括するために管領が置かれました。この職には足利氏の有力な一門である細川・斯波・畠山の三家が交代で就任したため、これらの家柄は「三管領」と呼ばれます。鎌倉幕府の「執権」や江戸幕府の「老中」と混同しないよう注意が必要です。